

YAMAMOTO
PLATING INDUSTRY INC.

Plating technology note

Using the advanced plating technology, we keep making a new development efforts to meet diversifying needs of users.

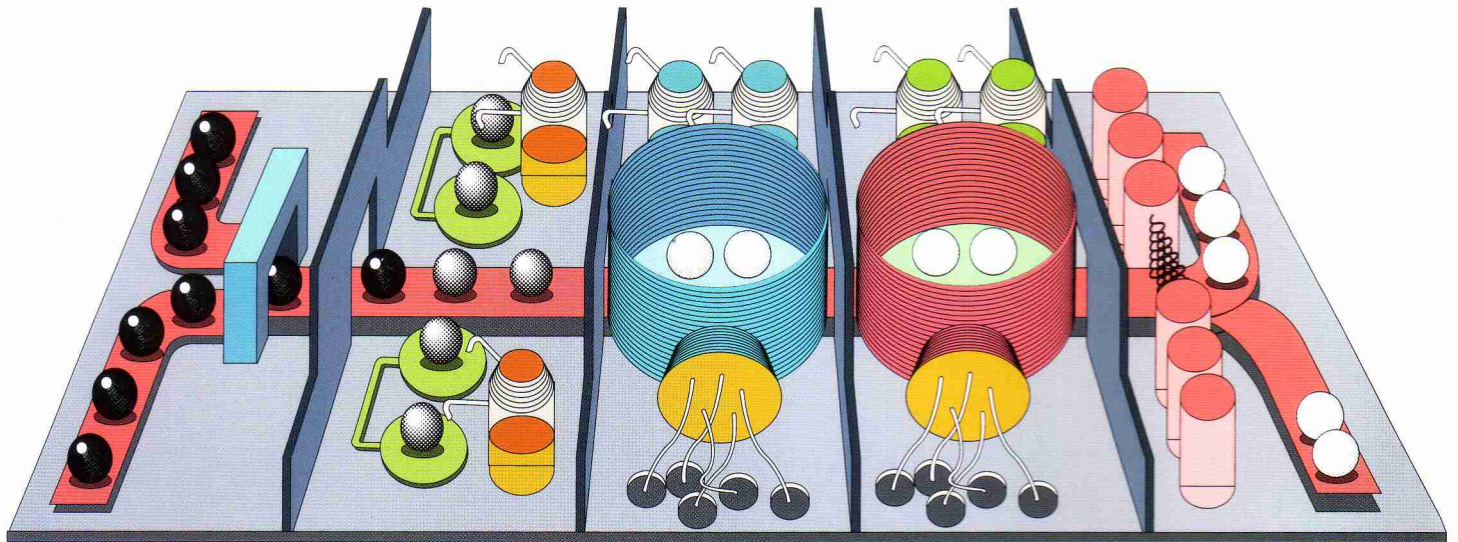




CHOKE

5492NI

品質の向上、技術の向上、不良率低下のため常に努力を続けています。



1 前処理

油や汚れを完全に除去。メッキの良し悪しを左右する重要な工程です。

2 活性化

たとえばアルミなら、表面の酸化アルミを取り除く工程です。それぞれの金属に合った薬品を使い、表面を傷めず、金属面を露出させます。

3 水洗

不純物はメッキ液の大敵。使用した薬品を完全に除去します。

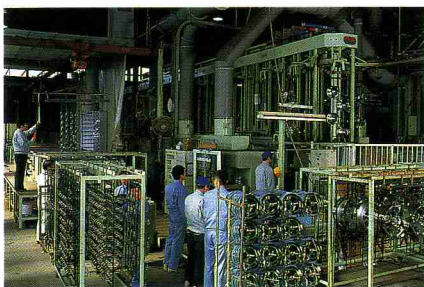
4 メッキ

徹底した液管理が必要。頻繁にチェックを行い、常に理想的なメッキ液を使用しています。

5 乾燥・検査

顧客の基準検査以外にも、独自の検査を実施。要望を完全に満たすことをテーマに、外観検査、厳しい性能検査を行っています。

自動制御ラインが次代のニーズに応えます。



自動化されたラインは、治具を対応させることでさまざまな形状の製品に対応。高品質の製品を確実にお届けします。

“メッキ”は装飾的用途にとどまらず、耐摩耗性や電気伝導性を高めたり、熱関連の特性を与えるなど、さまざまな分野で不可欠な重要技術です。私たちは、常に技術的な向上を図ると共に、現時点までに培ったノウハウを深く掘り下げることにより、コストを抑えながら安定した製品を供給することに注力。そして、生産システムの充実を図り、次代のニーズに応える努力を続けています。

現在稼働中の自動化ラインは表面処理の種類に応じて各マシンを使い、治具などを変えただけでさまざまな製品に柔軟に対応できる、独自の設計によるフレキシブルライン。ますます個性化、多様化する要望に的確に応えられるよう、随所に工

夫がなされています。また、最新鋭ライン導入のための先行投資も積極的に行い、さらなる不良率の低下とコストダウン化を図っています。

薬剤の厳しいチェックから次のノウハウが誕生します。

薬剤の濃度、平衡度等は、メッキの優劣を決定する重要なポイントです。当社では薬剤の分析を頻繁に行い、独自のチェックシートに液中の金属濃度バランスをはじめとする分析結果、温度・湿度などの環境を記載しています。これにより、万一不良が発生した場合でも、その時点まで遡り、あらゆるファクターを検討することが可能になっています。そして、それに対する改善策の積み重ねが、私たちのノウハウに直結しているのです。



原子吸光分析器を用い、毎日数回の薬剤の管理を行っています。この結果、安定した高品位製品の供給が可能となります。

品質管理には万全の体制で臨みます。



製品の検査工程も、目視だけでなく独自の手法を取り入れ均一で安定した品質の製品をお届けさせていただきます。

完成した製品は、ベテランスタッフにより厳しいチェックが行われています。そして、ここで問題が発生しても前述のチェックシートにより検証し、即対応が可能なシステムを整備。耐蝕などの性能試験も、高温の塩水噴霧試験や耐高温・耐低温試験など、JIS規格をはるかに上回る厳しい条件で実施しています。

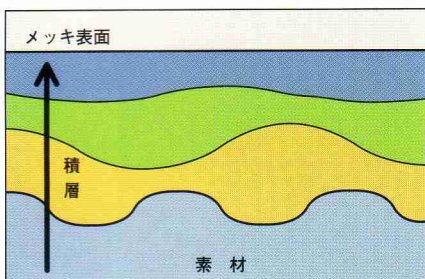
苛酷なテストとこれをクリアしていくための試行錯誤が技術領域を広げ、従来困難だったアルミ母材への美しく強いメッキさえ、量産可能にしたのです。品質の厳しい管理は、第一にお客様の満足度を向上させるため、そして第二に自らの技術向上のためであると私たちは考えています。

お任せください。アルミ母材さえクリアする技術が、コストと不良率を確実に削減します。



当社で可能なメッキの一例です。このほかにもさまざまな合金メッキ、金属メッキ、カラーメッキのご要望にお応えする技術があります。母材もアルミ、鉄、ステンレス、黄銅など、どんなものでも対応いたします。コストや不良率が高くてお困りのときこそ、当社の技術をお試しください。きっとご満足のいく結果をお約束いたします。

平滑度、強度を向上。 仕上げの手間さえ削減します。



確実な積層工程を経ていくため耐蝕性に優れ、強度も十分なメッキ面を形成、同時に十分な平滑度も提供します。

用途に応じたメッキを確実に行うことにより、美観はもちろん、触感まで変化させ、製品の価値や品位を向上させることができます。たとえば、ダイカスト製品の加工面を、鏡面の状態にまで平滑化することも可能です。従来の技術を用いた際、平滑度（レベリング）に問題が生じるような製品こそ、私たちが得意とする分野。私たちの提案が活かせる技術領域です。各種の合金メッキや複合メッキなど、さまざまな技術を組み合わせ、お客様の要望に応じています。

現在、仕上げ処理にコストと時間をかけている製品はありませんか？ その中には、当社の技術

を投入すれば、仕上げ処理が不要となる製品がたくさんあることと思います。当社はメッキの2大用途である装飾的用途、機能的用途に加え、素材の仕上がりさえカバーするという3つめの用途を実現し、メッキの可能性そのものをさらに大きく広げています。

メッキだけにとらわれない 品質向上のための技術。

当社では、電気の流れ方や治具の形状等を研究することにより、細部まで回り込んだ緻密なメッキを実現させています。複雑な形状の製品に施された美しいメッキは、ショールームを訪れる専門家を驚嘆させているほどです。

さらに当社は、メッキ技術だけにとらわれず、製品の品質向上、コストダウン化に関連する技術開発に、広い視野で取り組んでいます。その一例として、物理的作用により耐蝕性をアップさせる技術を新しく開発。メッキと合わせて用いることにより、今までにない低コスト化、品質向上化の実現に成功しています。

当社の仕事は、まずお客様の要望をじっくり聞くことから始まります。そして、技術的問題、コスト的問題、少量多品種対応、納期の問題などを、ひとつひとつ検討。必ずご満足いただける回答をお出しいたします。メッキ及び、その周辺技術に関することでしたら、何でもお気軽にご相談ください。

総合的な技術で 新しい市場に挑戦します。



従来のものにとらわれず、今までにないものを生み出すため常に新たな分野に取り組んでいく姿勢を持ち続けます。

私たちは、従来難しいとされていたアルミ母材への完璧なメッキ技術を確立し、市場の拡大に成功しました。現在、研究開発中のマグネシウム合金を母材としたメッキの量産も、大きな可能性を秘めた技術の一例。これが実現すれば、また新たな技術領域への進展が可能でしょう。私たちは、常に現状に満足することなく、メッキ技術を基幹とした技術革新を目指して今後も努力を続けます。

メッキ技術に関する疑問や、「こんなことは可能か?」といった質問は、当社までお気軽にお寄せください。誠意を持って回答させていただきます。

当社の、取扱製品の一例。
あらゆる分野の、さまざまな要望に
特殊技術でお応えしています。



1 2 3
4 5 6
7 8 9

当社は、あらゆる分野の製品を扱い、装飾的・機能的用途のメッキ技術を駆使し、厳しい要望にお応えしています。通常の母材はもとより、アルミやセラミック等、特殊素材に施すメッキも量産が可能。当社は「さらに美しく、より強く」をテーマにメッキの可能性を広げています。

1. 二輪車用各種パーツ／フロントフォーク・アッパーステアリングブラケット、シートハンドル
4. 楽器用パーツ／ドラム胴部分
7. 住宅用設備機器／ドアノブ、シャワー用パーツ

2. 四輪車用パーツ／アルミホイール
5. 楽器／トランペット
8. 住宅用設備機器／高級水廻り製品（蛇口、水栓パーツ）

3. 二輪車用パーツ／クランクケースカバー
6. 住宅用設備機器／ドアロック部分およびドアノブ
9. 高級筆記用具／シャープペン胴パーツ、万年筆胴パーツ



ごあいさつ

創立者

山本 恵三

1949年に創業した山本鍍金工業所は、40年余にわたりメッキ技術のノウハウを培ってまいりました。現在、自動車や二輪車、楽器、インテリア、電気製品など実に幅広い分野でご利用いただいております。1992年5月に竣工した新社屋にはショールームを設置。私たちの技術を実際にご覧いただきながら、お客様に要望をお話いただける場として、さまざまな分野のエンジニアに好評を博して

しております。私たちは、「難しいものほど挑戦しがいがある」という意識を持った、生粋の技術者集団です。ぜひ一度、ご来社の上、何なりとご相談ください。



(会社概要)

所在地 ● 〒430-0841 静岡県浜松市南区寺脇町702

代表者 ● 代表取締役社長 山本和秀

設立 ● 1960年2月

資本金 ● 300万円

営業品目 ● 二輪車及び四輪車のパーツ70%、楽器部品10%、電気機器部品10%、その他10%

主要取引先 ● スズキ(株)、本田技研工業(株)、ヤマハ発動機(株)、ヤマハ(株)の各グループ企業
株INAX、松下電器産業(株)、浜松ホトニクス(株)、エンケイグループ ほか(順不同)

取引銀行 ● 静岡銀行砂山支店、みずほ銀行浜松支店、浜松信用金庫三島支店

(会社沿革)

1949年5月 ● 浜松市寺脇町にて個人創業

1960年2月 ● 有限会社改組、当初資本金150万円

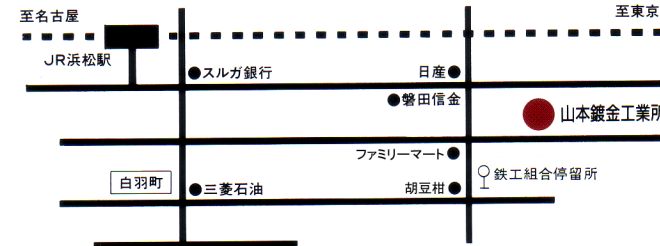
1964年3月 ● 浜松鉄工団地進出

1967年10月 ● 倍額増資、現資本金となり現在にいたる

1970年以來 ● アルミ母材へのメッキに取り組む

1992年5月 ● 新社屋竣工

※1966年5月期より優良申告法人として所轄税務署長より継続して表彰を受けています。



アクセス

浜松駅(東京から新幹線ひかりで約1時間半、大阪からひかりで約1時間40分)下車。浜松駅より遠鉄バス6番のりばより江之島・遠州浜線に乗りいただき鉄工組合停留所下車、東に5分歩いてください。浜松駅からタクシーですと10分ほどです。

有限会社 山本鍍金工業所

〒430-0841 静岡県浜松市南区寺脇町702 TEL(053)441-3013(代) FAX(053)441-8504